

東カリブ諸国機構（O E C S）6 か国月間情勢報告

（アンティグア・バーブーダ（アンティグア）、ドミニカ（国）、グレナダ、セントルシア、セントクリストファー・ネイビス（セントキッツ）、セントビンセント及びグレナディーン諸島（セントビンセント））

（2023年6月）

在トリニダード・トバゴ日本国大使館

6月の東カリブ諸国機構（O E C S）6 か国（注）の内政、経済、外交月間報告は以下の通り。

（注：アンティグア・バーブーダ（アンティグア）、ドミニカ（国）、グレナダ、セントルシア、セントクリストファー・ネイビス（セントキッツ）、セントビンセント及びグレナディーン諸島（セントビンセント））

1. 概況

- （セントルシア、セントビンセント）22日にハリケーン・ブレットが通過したことにより、セントルシアでは約6割、セントビンセントでは約5割の電力網が停止した。更に、セントビンセントでは総額20万東カリブドル（7.4万米ドル）に上る農作物被害が報告されている。
- （グレナダ）投資による市民権プログラム（C B I）において、本年第1四半期に578人の新規市民権が承認された。政府への歳入総額は5,700万東カリブドル弱（約2,100万米ドル）に上り、目標額を上回った。
- （アンティグア）IMFによると、アンティグアの経済は回復基調にあり、本年は5.5%の成長率が見込まれている。
- （アンティグア）財務省・統計局が発表した本年4月の消費者物価指数によると、全品目指数は前年度比7.7%の上昇となり、22年12月の4.5%上昇以来最大の前年度比上昇率を記録した。
- （セントビンセント）アフリカ輸出入銀行とパートナーシップ協定を締結。
- （アンティグア、セントキッツ、セントビンセント、セントルシア報道）カナダは、アンティグア、セントキッツ、セントビンセント、セントルシア含む合計13か国に、条件付のビザなし渡航を認可した。

2. 内政

- （6日セントキッツ報道）ドリュー首相兼国家安全保障大臣は、公衆衛生（Public Health）の観点から犯罪と暴力にアプローチする新たなイニシアチブに基づく国家安全保障タスクフォースを設立。同イニシアチブは、国家安全保障、

社会開発、教育、保健を組み込んだ総合的なアプローチをとる。

- （12日アンティグア報道）セントキッツ政府は、3月に米国への密航途中に遭難し救助されたカメルーン国籍の14人に「亡命希望者」のステータスを認定したと発表。
- （22日アンティグア報道）米国国務省により発表された2023年の人身取引（TIP）報告書にて、アンティグアにおける人身取引撲滅への取り組みがティア2に引き上げられた。ティア2とは、政府が人身取引をなくすための最低基準を完全に満たしてはいないものの、そのための努力を行っていることを意味する。
- （23日セントルシア、23日、29日セントビンセント報道）22日にハリケーン・ブレットが通過したことにより、セントルシアでは約6割、セントビンセントでは約5割の電力網が停止した。更に、セントビンセントでは総額20万東カリブドル（7.4万米ドル）に上る農作物被害が報告されている。
- （29日アンティグア報道）国際機関から出資される気候変動に関するプロジェクト管理強化のため、内閣は、環境省、財務省、事業省、公益事業省の職員で構成されるタスクフォースを設置。

3. 経済

- （8日セントビンセント報道）英国の養殖会社シーフィールズ社は、サルガッサムを着岸前に捕獲し、海上養殖施設で畜養を試みる計画の試験に成功したと発表。同計画は、サルガッサムの漂着による被害を改善するだけでなく、二酸化炭素排出量の削減及び地元漁師の漁業活性化も図る。
- （9日セントキッツ報道）本年11月2日より、米国のジェットブルー航空がセントキッツで運航を開始予定。
- （14日アンティグア報道）東カリブ中央銀行（ECCB）の国別報告書によると、アンティグアの国内総生産は50億東カリブドル（約18億米ドル）。
- （14日グレナダ報道）投資による市民権プログラム（CBI）において、本年第1四半期に578人の新規市民権が承認された。政府への歳入総額は5,700万東カリブドル弱（約2,100万米ドル）に上り、目標額を上回った。
- （16日セントキッツ報道）農業・漁業・海洋資源・協同組合省は台湾国際協力開発基金（ICDF）と共同で、カリコム地域における、25年までに食料輸入額を大幅に減らし、食料費25%の削減を目標とする25 by 25アジェンダの元、セントキッツに孵化場を設置する鶏肉産業の持続可能な開発プロジェクトを進めている。
- （18日セントルシア報道）セントルシアと台湾の両政府は、零細・中小企業（MSME）における製品デザイン、マーケティング、ブランディング、プロモ

ーションなどの能力強化を通じた成長促進を目的に、4地域で実施するパイロット・プロジェクトに関する覚書に調印。同プロジェクトは、台湾 I C D F と商務・製造・事業開発・協同組合・消費者問題省によって実施され、台湾 I C D F が約 8 0 0 , 0 0 0 米ドル拠出する。

●(25日セントルシア報道)台湾政府からの資金援助と技術支援により、3日間にわたる海草養殖の講習会が開催され、約40名が参加。

●(26日アンティグア報道)IMFによると、アンティグアの経済は回復基調にあり、本年は5.5%の成長率が見込まれている。同国の観光セクターは、2023年の始めの4ヶ月間でパンデミック前の約98%に達した。

●(27日セントルシア報道)セントルシアの「窮状基金」は台湾から追加で100万東カリブドル(約37万米ドル)の支援を受けた。この基金は、緊急支援を必要とする貧困家庭の支援にあてられる。

●(27日アンティグア報道)財務省・統計局が発表した本年4月の消費者物価指数によると、全品目指数は前年度比7.7%の上昇となり、22年12月の4.5%上昇以来最大の前年度比上昇率を記録した。

●(27日セントルシア報道)台湾政府はセントルシアの国家安全保障の強化に貢献すべく、国内の警察に監視装置を贈与した。

●(28日グレナダ報道)グレナダ政府は国連食糧農業機関(FAO)の協力の下、海草養殖におけるバリューチェーン強化や市場拡大を目的とした開発に取り組んでいる。

●(29日セントビンセント報道)セントビンセントはアフリカ輸出入銀行とパートナーシップ協定を締結。アフリカとカリブ諸国の貿易・投資関係拡大を目的とする。

4. 外交

●(2日ドミニカ報道)スケリット首相は、ドミニカに居住するハイチ国民とドミニカ共和国国民の労働許可証の認可を促進するためのタスクフォースを設置すると発表。

●(6日アンティグア、セントキッツ、セントビンセント、7日セントルシア報道)カナダは、アンティグア、セントキッツ、セントビンセント、セントルシア、TTを含む合計13か国に、条件付のビザなし渡航を認可した。条件は、現在カナダビザを所有する者、過去10年間にビザを取得した者、又は友好的米国ビザの所有者。

●(11日セントビンセント報道)セントビンセント政府、在セントビンセント台湾大使館、在バルバドス・東カリブ・OECS米国大使館は、「カリブ地域とラテンアメリカの発展途上国のための技術・職業訓練ツールと技術」というテー

マの元、グローバル協力・訓練枠組み（GCTF）セミナーを共催した。

●（16日アンティグア報道）グローバル人権ガバナンスフォーラム出席のため中国を訪問したグリーン外相は秦剛外相と会談し、中国の一带一路の原則を堅持している旨発言した他、インフラ、経済・貿易、農業、環境保護、水資源の分野で協力を強化する意欲を表明。

●（21日OECS報道）18～19日にかけて、第73回OECS会合（議長：ドリュー・セントキッツ首相）が開催され、域内の自由な移動、第7回OECS総会、東カリブ地域海洋政策2020の最終承認、英領ヴァージン諸島情勢等に関して協議された。